



9616

共立メンテナンス

 株式会社 共立メンテナンス


取締役副社長 上田 卓味氏

セミナー内容

成長を続ける「寮とホテルのWインバウンド」

主力事業の学生寮・社員寮の運営管理で国内トップシェア。第2の柱であるホテル事業では、「大浴場」と「朝食バイキング」でお馴染みの『ドリーミーイン』を全国に展開。更に、癒しの湯宿&リゾートホテルでは顧客満足度調査で毎年多数の施設が上位ランクイン。

社名の由来は「人々のお世話をする事業」

社名は“顧客と共に、社会と共に、全ての人々と共に、立つ”という意味を持つ『共立』と、“生計・維持・扶養”などの意味を持つ『メンテナンス』をあわせ、“ヒューマンメンテナンス”＝「人々のお世話をする事業」を表している。1979年に社員寮の食堂受託からスタートした事業を多様に発展させ、数年前には留学生への奨学援助を趣旨とした共立国際交流奨学財団を設立するまでに至り、社会貢献活動の推進も積極的に行っている。

社員寮で培ったノウハウを活かし、ホテル、シニア、多様な新規事業へ拡大展開

「社員寮の食堂」受託事業で創業し、「学生寮」「社員寮」の管理運営へ進出し業容を拡大。その後、寮事業で育んだホスピタリティーと快適さを追求した施設運営から派生した「ビジネスホテル(ドリーミーイン)事業」へ進出。さらに多様化する宿泊客のニーズを見込んで「リゾートホテル事業」へ進出。その他、高齢層をターゲットとした「シニアライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営)」も展開。

安定的な寮事業と成長加速するホテル事業

『安定的に強い寮事業』と『伸び盛りのホテル事業』という形での両輪となる事業展開が、共立メンテナンスの収益の急成長を支えている。学生寮・社員寮は全国で455箇所約36,000室を管理運営し、寮運営では全国でも共立メンテナンスが圧倒的シェアを誇っている。高い期初稼働率(97.3%)を実現し、今後も留学生増加、提携大学の増加で安定成長が見込まれる。また、ドリーミーインは全国で54箇所、リゾートホテルは全国で23箇所に展開し、売上高も534億円となり、寮事業を凌駕している。今後も外国人観光客増加、客室単価の増加でさらなる成長が見込まれる。

業績好調、6期連続増益、4期連続過去最高益を更新

2016年3月期は、堅調な寮事業の着実な成長とホテル事業の躍進により、経常利益27%増となり、6期連続増益、4期連続過去最高益を更新。現中期経営計画の1年前倒し達成が視野に入中、営業利益100億円の大台を突破した。また、成長加速のための開発資金として、ゼロクーポンCB発行により200億円の資金を調達した。

中期経営計画の前倒し達成へ向け、さらなる飛躍を目指す

2015年5月に中期経営計画「共立フルアクセル・プラン」で、2018年3月期に売上高1,500億円、営業利益110億円、経常利益100億円を定量目標として発表。その後、顧客のニーズに応えるべく、開発投資を集中的かつ積極的に加速し、価値と価格のバランス適正化による収益力の強化に取り組み続け、定量目標は1年前倒しの2017年3月期の決算で達成する勢いをみせている。